



お待ちかね変化朝顔が咲きますよ

～今年も開門早める特別撮影日を設定します～

ふじやま公園の来訪者の方にはもうすっかりおなじみになった江戸変化朝顔。ふじやま公園で5年目を迎え、今着々と成長中です。

江戸時代の文化文政期の第1次ブームから数え、今は第4次ブームと言われる変化朝顔は、通常切れ目のないラッパ状に咲く花が、細かく切れた花卉になったり、八重に咲いたり、とにかく普通では考えられないような花を咲かせるのです。

もともとが突然変異で咲いたものなので、出来た種を蒔いても来年も同じように咲くとは限らないのが苦労するところです。江戸時代にはそれがまたオモトや菊とともに変化がもてはやされ、高値で取引されたそうです。幕府がそれを規制する通達を出したことが小岩井家の古文書「嘉永5年御用留」に残っています。

最初から栽培に携わっている農芸部会の木村さんは「それどころか、タネを作らないものもあって、その兄弟からの変異を期待したり…。どんな花が咲くことやら」と開花を楽しみにしています。

昨年、朝が早い朝顔だけに通常9時の開門を1時間早めた撮影日を設定しましたが、今年も8月12日(月＝祝)を特別撮影日とすることにしました。第2回写真コンテストも開催されますので、奮って応募してください。(写真上は昨年の特別賞) テーマはふじやま公園で、花でも古民家でも、また里山でも、公園を楽しむ人たちでも何でも結構です。締切は昨年同様8月31日(土)で、1人3点までの応募とします。



応募はメールで hongofujiyama@hongofujiyama.jp へ。

ウメ、スイセン…から始まった公園の花暦も夏はちょっとお休み。気の早い秋の七草が咲き始めてはいるものの照り付ける強い日差しには花も人もげんなり…。昨年在超猛暑だったのを覚えている人たちは準備怠りないが、公園に来るときは飲み水をお忘れなく。主屋横の事務所には給水機があるとはいえ、山に入って熱中症の症状が出たときは水と木陰が頼り。水分が足りないと血液の濃度が上がって梗塞が起きやすくなるともいわれるので、夏の園内散策には水筒かペットボトルの水が必需品。






★ 今年も七夕飾りが大人気でした～ソーメン流しは21日に延期～



昨年待ち時間を少なくするために事前申込制にしたわんこソーメン流しが7月7日の予報が大雨のため21日(日)に延期されました。1日からの七夕飾りは色とりどりの短冊が用意され、例年のように訪れた子どもたちが楽しい夏休みになりますように…などを書いて笹を飾付け、お星さまにお願いしました。

古民家 Q&A 長押(なげし)

Q：古民家座敷の鴨居の上にある板の名称と役割は

A：名称は長押です。長押は和風建築で鴨居を支えている柱の間に水平に取付ける化粧部材で、鴨居の上に取り付けられているのは通常内法長押と云います。長押は本来柱面に水平に打付けて柱を連結し、建物に働く横力に対抗し変形を防ぐ構造材でした。柱の中間部に貫を通し、柱どうしをしっかりと緊結する貫(ぬき)工法が用いられるようになってから化粧材になりました。水平に連続する長押は、和室の空間を引き締め、建物の格式を高める役割がありました。江戸幕府は千石以下の旗本の住宅に長押を取付けることを禁じました。江戸後期以降は庶民の住宅でも見られるようになりました。大きさとしては、外面は柱面から2cmくらい突出し、上端は厚さ1



～1.5 cm程です。材料は柱と同材か杉が用いられます。現代の住宅でも長押が見られますが、完全に化粧材で、時にはハンガーを掛ける場所になることもあります。

小岩井家住宅で上・中・下座敷に取り付けられています。広間や中之間など家人の居住部屋にありません。写真で柱、鴨居、壁との位置関係を示しましたが、実物で確かめてください。



公園の手打ち蕎麦はいつでも大人気です！

昨年が続いての古民家でおそばを食べる会が今年は6月19日から23日まで行われました。毎日11時から13時まで行われ、1日30食限定だったので残念な人もいましたが、翌日再び挑戦という人もいるほどの人気でした。期間中開催された各体験教室の作品展も人気を集め、連日大賑わいで、教室の申し込みもありました。





サトイモ (里 芋)

秋の収穫祭で、焼き芋と並び人気のふじやま鍋で主役を務めるのがこの里芋で、ふじやま農園で栽培されている。原産地は東南アジアで、日本には縄文時代には渡来していたといわれる。花が咲くことはほとんどないため、種で増やすことはできず、親株を植え付けて栽培される。

葉は中央部が凹んでいるため、水滴がたまっているのを見かけることがある。里芋の露は神の水で、これを集めて墨をすると字がうまくなるとか、七夕の短冊に書いた願いが叶ったりするなどの言い伝えがある。



新しく「カメラ教室」が始まりました

工作棟の体験教室に、コケ玉教室に続いて今年2つ目の新しい課目「カメラ教室」が7月10日から始まりました。ベテランの保坂順彌さんが講師で、第1回は8人が参加しました。月1回の予定で、次回は8月14日です。(4面参照) 講師の作品を見ながら写真のコツを学び、コンテストに応募したいと語る人もいました。



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

息子が時々、夫と来ていて「お母さんとも一緒に行きたい」と言われて、今回初めて来ました。行くまでの道のりの竹林素敵でした。

山道が少し疲れましたが、古民家の伸々とした雰囲気にはやされました。

(市内 40代 家族で)



令和元年8月度ボランティア活動予定

部会・事項	日 程	部会・事項	日 程
事務局会議	3日(土)	古民家歴史部会 部会	11日(日)
農芸部会 部会	19日(月)	古文書解読勉強会	休みます
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	休みます
里山部会 作業	10日(土) 17日(土) 25日(日)	クリーンアップ	6日(火) 20日(火)
工作棟部会 部会	休みます	広報部会	
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ふじやまだより編集会議	8日(木)
		印刷	13日(火)
		ホームページ制作打合せ	25日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限定員
カメラ教室	8月14日(水) 10時～11時30分	～写してみよう～ 経験者も初心者も大歓迎	無料	8月5日(月) 10名
初心者茶道体験教室	8月18日(日) 13時～16時	茶道を通して和の心を 学びましょう	500円	8月9日(金) 10名
絵手紙 (全4回)	9月10日(火)、17日(火) 10月8日(火)、15日(火) 13時～16時	はがき絵の基本を学び 実際に画いてみましょう	600円	8月2日(金) 9名
押し絵 (全2回)	9月11日(水)、18日(水) 13時～16時	「椿」のリースを作ります	1,500円	8月22日(木) 12名
フラワー アレンジメント	9月26日(木) 13時30分～15時30分	シックな色合いの秋色リース	2,300円	9月10日(火) 8名
里山のそば打塾	9月28日(土) 10時～12時30分	手打ちそばの基本を学び美 味しいそばを打ち、自分で打 ったそばを試食します 持帰りもあります	900円	9月13日(金) 10名
はじめての篆刻入門 (全4回)	8月31日(土)、9月14日 (土)、21日(土)、29日(日) 9時～12時	石印材に好きな文字を刻し、 オリジナルな印を作製する	1,500円	8月9日(金) 12名

- (1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ
(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

- ★ いろいろ端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話を楽しみましょう

日 時：8月15日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろいろ端

定 員：15名 当日先着順 無料

- ★ 公園の活動仲間になりませんか

ふじやま公園は、ボランティア会員の活動に支えられています。現在約130名の会員が加入
しておりますが、会員は自分の趣味などに合わせていろいろな分野、部会に分かれて活動して
います。活動参加希望の方は、事務所窓口へ直接、又は下記の電話番号へお問合せください。

- ★ 歴史探訪 ご希望の方は前もって事務所へお電話ください。今後の予定コースと集合場所は
次の通りです。スタートは9時50分です。8月は休みます。

第140回 9月4日(水) 西区 掃部山コース 相鉄線平沼橋駅改札口

第141回 10月2日(水) 保土ヶ谷区 古道～大学構内散策コース 相鉄線和田町駅改札口

- ★ ふじやま公園来園者数 6月来園者数 1,203名 元年度累計 5,652名

- | |
|------------------------------|
| ・開館時間：9時～17時 |
| ・入館料：無料 |
| ・休館日：毎月第一水曜日 8月7日(水) |
| ・クリーンアップ：毎月第1、3火曜日(8月6日、20日) |

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593

